

# SPEED★STAR

Machine Sports Authority オートレースを100倍楽しむヒューマンドキュメントマガジン1997 Aug Vol.2



黒潮列伝

# 佐々木 啓

●女優/タレント  
特観席 原 久美子さん

# THE ROOKIES

浜松編

デビュー年に優秀新人賞。

3年目にはGIを初制覇し、優秀新鋭選手賞を獲得。

オートレーサーとして順調なスタートを切った佐々木啓太が、

生来の負けず嫌いには、自分がまだまだ歯がゆいらしい。

彼が今、乗り越えようとしている「壁」とは何んなのだろう。



# 佐々木 啓

KEI SASAKI

# 啓

●佐々木 啓 (ささき けい)

山陽オート所属・23期。昭和48年9月28日山口県生まれ。171cm、56kg。平成3年の獲得賞金総額約3,283万円。優秀新人賞、優秀新鋭選手賞、日刊スポーツ三賞敢闘賞など受賞歴多数。趣味はビリヤードで、負けず嫌いが嵩じて現在はほぼ毎日楽しんでいるとか。本年2月に結婚。

自分、何でも競ったりすることがすごい好きなんですよ。レースとかは、見ることもすることも好きだったんです。それで、まあかなりの負けず嫌いみたいで」

「自分の父がオートレースが好きで、小学校3年生の頃かな。電車で1時間くらいかけて何回か連れて行ってもらってた。うちにオートレーサーになりたいなあと思っただけです。でも自分、小さいころは毎日野球やってたんですよ。で、たまに野球のないときに付いていくって感じでした。赤ちゃんの時から連れていかざれようと聞いたんですけどそれは記憶にない。

7月19日、船橋オートレース場を舞台に行われた「GI黒潮杯争奪戦」の前接日。交流選手として山陽より遠征してきた佐々木啓を訪ねると、このところやや調子を落としていた彼は、マシン整備に熱中していた。

「自分の性格？ …陰気くさー(周囲爆笑)。…だめですね。よくないですよ自分の性格。べらべらしさるようなやつは好かんですし、無口な、ただの、へんくうですよ」

「へんくう」とは、佐々木の生まれ育った山口県の方言で、「あまのじゃくな性格を指すらしい。たしかに、こちら側が返ってくる答えを予め想定しているような、甘い質問には、なかなかノってくれない。が、じっと待っていると、「自分」という二人称で、ぼつり、ぼつり、と手応えのある言葉が返ってくる。

# エンジンをやらにや勝てんだらう という水準までは、 いちおう来たんかなあ。

「ケガですか。そういうえは練習中、足の指の骨を折ったけど、いつたかかはもう覚えてないなあ。今思い出すとやったかなあ、くらの感じで。：肝炎での入院にしても、あせりは特になかったですね。足、折れたりしてあとから曲がらんようになったりしたらコトだけど、病気でですからね。デビューも遅れずに済みましたし」

それは一面の真実なのだろう。しかし、ケガや病気を言い訳にはしないという彼の決意表明の言葉にも聞こえてくる。

**養成所生活は、競争“だった。逃げ出すわけにはいかなかった。**

18歳というほぼ最年少で養成所に入所した佐々木にとって、10ヶ月間の養成所生活はハードだろう。彼は、その生活をさくばらんに表現する。

「養成所の生活は、もう我慢の連続ですね。自分18で入ったんですが、まだそれって若いじゃないですか。ブンブン遊びたい時期にこんなことに入られて、というのはすごくあつたんでしょう。ほんと、つらかったですよ。朝が早いことがまずつらい。(養成所の)外に走って、トレーニングして。6時起床。出れないこともあったし。あと、自分す

ごいTVが好き、テレビ子だったんで、正月明けるまでテレビ見られなかったのがつらかったですね。：でも、入った時点でもう競争の世界じゃないですか。まわりがおつて、みんなこうやっていきよんのに。そういう競争になつてきたらやつぱりやつてやろうと、そういう気になつたみたいです」

佐々木の負けず嫌いはスジガネ入りだ。平成5年、佐々木は養成所を卒業し、地元山陽オートレース場に配属されることになる。当時の佐々木について、師匠の高橋光利(山陽・9期)は述懐する。

「養成所でケガをしたというし、こつちへきて早々に肝炎で1か月も入院した。カラダが弱い子かと(笑)心配したんですが、

そんなことはなかったですね。平均的なオートレーサーに比べても運動神経も発達してましたし。表面には出さないけど気の強い、芯のある男です。素直に話は聞くんですが、もう練習いいぞといった時は、本人が納得いつてないと、もう少しもう少しと何度でもトライする。そんなところがありましたね」

デビュー前に体験した2つのアクシデント。不安はなかったのだろうか。

**イメージの蓄積が、混戦に動じないレース運びを生む。**

平成6年、佐々木は浜松で行われた新人戦で準優勝を果たす。佐々木の走りに関する同期の評価はこうだ。

「リズムに乗つてような自在な走りをしてる。もう新人の時から、おつかひつくりじゃない、どうか自信がありそうで、しかも頭の回転がよくて鋭いことを考えてる、そういう走りをしてました」(白次義孝選手・船橋・23期)「新人戦の時も啓ひとりだけうまいなって、みんな言っていました。みんな中使おうとするんですけどうまく使えない全滅さこないレースはつかで、なのに、あいつだけが外回つても速いし、中もうまく使うという、そういうレースをしてました。混戦の時とかもほんと、落ちついて冷静にレースを運んでる感じがしますよ」(浅香潤選手・伊勢崎・23期)

冷静さの由来について、佐々木自身に聞いてみた。

「それは自分のイメージなんです。たとえは小林さん(小林啓一・山陽・8期)とか代表的な選手のレースを見るじゃないですか。するとレースが綺麗なんです。ああいうサバキとかしてみたくな、そういうレベルまで



いきたくないというのですと見てたから。そういうイメージが自分にあつたからじゃないですかね。まあ、それなりの練習はせにやいけんですけどね。そういう走りは」

佐々木の魅力は、そうした冷静さである種の「気合」の同居にある。

「たとえばハンデ位置とかみて、スタート切つたら行けるんじゃないかといういい位置にあるとき、これは勝たにやバイやろと自分に言い聞かせるんです。ひとは言わないですけどね。『切らにやおまえクビよ。そうなるでもいいんか、ビヤーツー』つて、そんな感じで」



ところで白次、浅香両選手と佐々木とは、実は車名にある共通項がある。佐々木が「ルパン」、白次が「フジコ」、浅香が「ジゲン」(今夏大破して現在は「モンキーパンチ」)。ご存じ、人気アニメ「ルパン3世」に縁の深い名である。同期との関係に水をむけると、佐々木の表情が明らかに和らぎ、ちょよとやんちゃな瞳になった。

「いっしょにSG出たいとかは、いつも思ってますよ。ルパンとジゲンでワンツーとかつてカンクえやないですか。ゴエモンもいるんですよ。山陽に。林(弘明・24期)。自分がつけるといつたのかな。いや、林がつけさ

して下さい」といってたという(にしろ)。(笑)」

**マシンを「か所い」するたび、練習。果てしない試行錯誤は続く。**

平成8年、浜松で行われた秋のスピード王決定戦でG1初優勝を飾り、年間の獲得賞金額も3千万円を突破。一流レーサーへの道を順調に歩きはじめた佐々木だが、この夏はやや調子を落としていた。

「今の課題はもつともつと整備力をつけること。飯塚行ったら合わんとか、浜松行ったら(エンジン力)出らんとか。それじゃいかん。気候とかの問題やろうと思えますけど、そういうところに自分はまだ合わしきらん。まだまだ勉強不足だなあと思っています。ここ船橋は自分は相性がいいんですけどね——つて、そういう言い方すること自体よくないんですよ。どそこも行けるようにならんと」

師匠の高橋も「整備を覚えたらもつと強くなる」と指摘するが、佐々木は、そのために現在所有している3台のエンジン別に、3冊の整備ノートをつけている。ノートには、例えばシリンダー交換なら、替えたピンやピストンのサイズと、その状態での走りの感想までが細かく記録されている。

「いやあみんなやつてますよ。自分はずいぶんうじゃないですか。最近、エンジンでもなんでも何かいじつたら練習、何かしたら練習というパターンを覚えたから。整備して練習。ダメやつたらまたいじつて練習。レースと同じエンジン(状態)では練習にいかんです。同じことをしててもしょうがないですから。」

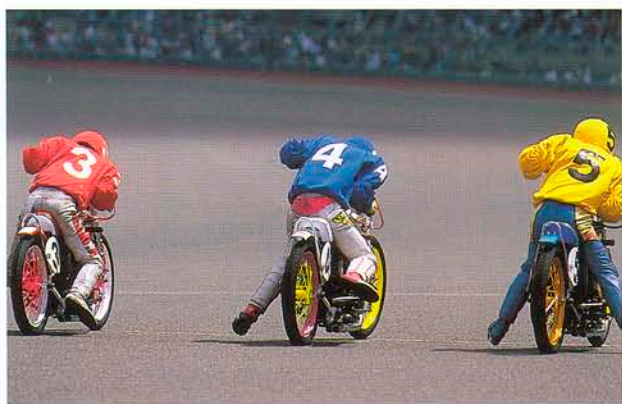
今までは乗ることだけが練習で、とにかく回って回ること重視。エンジンはどうでもえーく、とにかく回るだけだったんですが。最近とはにかくエンジンをやらにや勝てんたろうという水進まではいっおう来たんなあ。…にしても整備に関しては、経験も、それ

から努力もまだまだ足りない。もつともつと努力せんと。ひとがひとつとるところを3つも4つもするひには勝てないですよ。わかつてらんですけどね」

今は、どのレース場でも、どんな天候でもベストなコンディションに整備するための「データ集めの時機なのだろう。とすれば、佐々木は十分なデータが揃ったある日を境に爆発的に強くなる、スーパースターに「化ける」選手なのかもしれない。

インタビューの終了を告げ、録音機材のスイッチを切ると佐々木は「今日はちょっとしゃべりすぎたかもしれん」とぼそりと言いつつ、こちらを振り向くことなく、ふたたび、明日乗るマシンの整備へと戻った。

最後に黒潮杯の成績だが、準決勝で入着を逃し、決勝進出は果たせずに終わった。佐々木のブレイクまでには、今少し時間が必要なのだろう。



## ●原 久美子さんの巻

# スタート前の レーサーたちの目つきに 男のロマンを感じちゃいます。



残念。  
この日一番の大売れのレースで、  
本命車手も大ハズレ。



発売所で。  
大枚5千円でこの日取付した高橋選手と広瀬選手を買う。  
おぼんが「当たるといわね〜」と喜んでくれたが…。



高橋選手(伊勢高22期)のガレージ。  
ちなみにこの日は単発で撮影。  
原さんの訪問で興奮、すまたが?

去る7月、某新人選手デビュー戦でオートレース場には珍しく黄色い歓声に沸いた川口オート。とはいえこの観客席のふだんの主役はやっぱりおにいさんやオジさんたちだ。7月29日、GⅡ第19回キューポラ杯争奪戦開催中のこの川口オートに二人の美女が訪問。予想に熱中していた多くの男たちの視線を集め、赤鉛筆の動きを止めさせた。この美女こそ誰であろう、今回のゲスト原久美子さんである。

「想像してたりレース場が広くて観客席もカラフルできれいなんでびっくりしました」

と、長いマツ毛を瞬かせる。

「ええ直線でもう出ますね。コーナーも80から90kmで回るの、四輪でも凄いの。体感速度もかなりものですよ」

そう、この発言でも察せられるようにこの原さん、全くの素人ではない。今ここで、映画にドラマにCFにと



大活躍の女優さんだが、かつては某タイヤメーカーのキャンペーンガールとして、国内戦から海外のF1レースまで、二輪から四輪まで多くのレースを転戦(?)したというキャリアの持ち主。あのセナとプロストの接触事故も間近で目撃したというから

タダ者ではない。

「私、免許もないくせにもともとモータースポーツは好きなんです。どーゆーところがって、うまく言えないけど。男の世界というか、女が入っていけないような。男のロマンのかっこよさがいいのかな〜」

そう言いながら視線を宙に漂わせて考え込むくさが悩ましい。

「オートもそうですけど、F1でもレーサーがヘルメットを被ると、目しかみえないでしょ。その目つきがスタート前にガラリと変わっちゃうんですよ。あの目になると、なんだか話かけられないですね。そーゆーのがウーン、男の世界だなあと…」

特観席を出て、コース脇の金網のそばで観戦した時のこと。

「同じ一輪でも鈴鹿なんかのロードレースの排気音はもつと高い音なんです。オートレースのは、なんだかお腹に響く重くて低い音ですね」と、原さんはお腹のあたりをさすりながら微笑む。

この日のレースでは千八百円買ったものの、この原さんの笑顔で、なんだか得したような幸せな気分になったレーサーでありました。

(はら・くみこ)

女優。1970年東京生れ。銀座のO型。B86・W58・H88・T168cm。その長身を活かし、中学時代からレ一部でならした体育会系美少女だったとか。江ノ島でスカウトされ高2でモデルに。タイヤメーカーやビール会社のキャンペーンガールを経て、松竹映画「バカヤロー4」でスクリーンデビューを果たす。その後、映画やTVドラマ、舞台で活躍。現在、レギュラー出演中の関西テレビ「WSPOTT」で人気を集めている。明治カフェシオCFのセクシーな先生役でもおなじみ。

# THE ROOKIES

出てこい、次代の  
ニュー・ヒーロー!!

## 浜松オート・第25期生

「SG第1回東西チャンピオンカップ」  
が当地浜松で開催。  
トップレーサーの熱走が、  
若きルーキーたちの血をたぎらせた。

賞金獲得ランキング上位選手を集めた「SG東西チャンピオンカップ」。その記念すべき第1回大会が、去る7月12日から浜松オートで開催された。各レース場屈指の実力派が一堂に会した夢のSGレース。その一流の走りを目の当たりにして圧倒されながらも、今春当地に配属された25期生は次代のニュー・ヒーローへの熱い決意を語ってくれた。



●写真左より

**片岡信之** (かたおかのぶゆき)  
愛知県出身。75年7月7日生まれ。東西チャンピオンカップ戦にも出場中の片岡賢児選手(飯塚21期)は兄。「養成所時代に走りを見てもらい口喧嘩されました」。そんな兄を彼は誇らしげに「目標」と語る。今後の課題は、と訊くと、「早くスピードに乗せること。今は1・2コーナーまでに差されとまくり返す力がまだないですから…」と冷静に自己分析をしてみた。

**戸塚茂** (とつかしげる)  
静岡県出身。75年7月1日生まれ。唯一の地元(掛川市)出身者。「浜松市内の自分のアパートが同期生のたまり場」という。デビュー以来2勝しているが「晴れの日のレースで勝ちたいです。今まではどちらも雨だったんで…」と明るく笑う。しかしライバルに話題が及ぶと「あまり意識しません。でも、地元の同期にだけは負けたくないです」と、一転して表情を引き締めた。

**浅野浩幸** (あさのひろゆき)  
東京都出身。73年11月22日生まれ。地元同期の片岡選手と同じく、川口の浅野幸三選手(17期)を兄にもつ兄弟レーサーである。開催中のSG戦での地元勢の不振について感想を求められると「浜松の選手が決して弱いとは思いません」と、憤然と反論。先輩たちを弁護するその断固とした態度に、161cmの小柄な身体が一瞬大きく感じられた。

**遠藤誠** (えんどうまこと)  
東京都出身。74年12月15日生まれ。7月15日現在、この5人の中では最多の5勝をあげているが、本人は「そうですか」と特に意識していない様子。開催中の東西チャンピオンカップの出場選手では「高橋寛さんの走りが印象的でした」という。今大会地元選手が振るわないことに関して「自分たちが早く実力付けて浜松の名を上げたいです」と頼もしい決意を口にした。

**猿谷敦史** (さるやあつし)  
群馬県出身。75年12月5日生まれ。養成所時代に落車を経験した。「立ち上がりの時にドカンと行っちゃって…」。そのせいだろうか、残念ながら7月15日現在、地元同期生の中で唯一勝ち星がない。課題は、「とにかくグリップを開けること」と単純明快だが、それだけに難しい。「とにかく一勝あげたい」。その気迫に満ちた口ぶりから、初勝利の日が決して遠くないことを予感させた。

オートレースを支える様々なプロたちによる、ココだけのナイショ話、ヒミツのウラ話。

## オフコミ談話室

川口オートレース場  
番組編成委員S氏(委員歴9年)の巻  
その②

### 「選手の組み合わせには“ルール”と“ツボ”がある。」

予選と一般戦では選手の組み合わせ方が全く違う。「予選は、みなが平等に準決勝まで行けるように組みます。同じ賞金のレースが何本かあって、その中のあるレースだけ強い車を集めたら不公平ですよ。上位の何車しか上にあげられないわけですからね。」

一方、一般戦になれば予選の時と比べればそれ程公平感はないです。興味をそそる組み合わせで面白いレースを演出します。まず、この選手とこの選手が闘ってるところを見たい、どんなレースをするんだろうという組み合わせですね。これは私たちが観たいものを組めば、そのままお客さんが観たいレースになっているはず。それにしても、強い2選手でガチガチになってしまうのなら組みませんけどね。

また、強いメンバーだけ固めたり、若い選手同志の組み合わせをやってみたり、それからたまにですけど、ちょっと調子を落としていて0ハンカ走るの多い選手を集めてレースを組むと、お客さんに喜んでもらえたりするんですね」



姻戚関係にある選手は組み合わせないが…。「番組編成上の基本ルールがいくつかあります。選手の出場は原則として1日1回。前日に同じレースで対戦した競走車を3車以上同じレースに組み合わせないこと。それから親族や姻戚関係にある選手は、原則的に組み合わせないようにしているんです。実はこれに関しては適用しきれなかったレースもあるんです。名字が同じならチェックも厳しくできますが、この世界に入ったのちに、ある選手の妹や姉と結婚したなんていう場合はなかなかわからない

です。昨年山陽からの交流選手にそういうケースがありまして、冷や汗もんでした。実際、選手同志もやりにくくてイヤがるひが多いですから。もう少し情報をしっかり集めなくてはいいですね」番組編成の参考にするのは、主に最近の成績だ。「番組編成は、具体的には選手1人につき1枚ずつ作成する、テレホンカード大の戦績カードを、一日分の番組が組めるプログラムボードに配置して決めます。戦績カードにはここ2ヶ月のレース結果——①何レースの②何号車で③その時のハンドと④灌順⑤タイム、だけが記されている、シンプルなものです。選手には調子の波がありますから3か月4か月前の成績見ても意味がないんです。そのへんはお客さんが実際にシビアで、ちょっと調子悪いと“捨て”ちゃうんですね。だから最近の成績を主に見て組み合わせとハンドを決めていくんです」

●今回はハンドの決め方など、ご期待ください。

# CLIP BOARD

## 開催日程のお知らせ

### Racing Schedule

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
船橋	8/31~	船橋(市)3GIIさんか杯					船橋(市)3								船橋(市)施2																	
川口	8/30~	川口(市)3					川口(市)3						川口(市)施3																			
浜松	8/30~	浜松8					浜松施2								浜松6																	
飯塚	8/30~	飯塚6																														
山陽	8/31~	山陽6																														
伊勢崎	8/30~	伊勢崎6					伊勢崎6																									

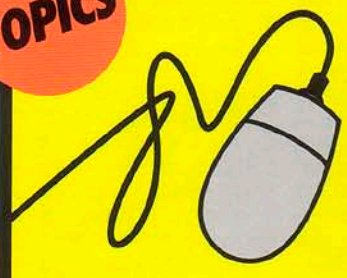
### Racing Schedule

10月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
船橋																																
川口																																
浜松																																
飯塚																																
山陽																																
伊勢崎																																

※伊勢崎レース場の開催は、9/15までナイターオートレースです。

●施=施設改善レース ●=場外発売

## TOPICS



### 日動振による初のオートレース オフィシャルホームページ開設!!

日動振では、去る7月よりインターネット上で、オートレースの情報を発信するホームページ(HP)を開設しました。これまでも川口や船橋などレース場ごとのHPは公開されていたものの、オートレース全体の公式HPは初めて。オートレースの基礎知識や全選手のデータなど、ピギナーからマニアまで楽しめる幅広いコンテンツが魅力です。ぜひ一度アクセスしてみてください。  
HPアドレス <http://www.autorace.or.jp/>

### 走るほど、人生は大きくなる。 9月10日より 日動振第26期生募集

日動振では、第26期選手候補生を下記の要綱で募集します。選考方法は学力検査と適正検査。オートレース一志望の方には絶好のチャンス到来。お見逃しなく。  
<第26期選手候補生募集要綱の骨子>  
①募集予定人員：20数名  
②受付期間：平成9年9月10日～30日(当日消印有効)  
③教育期間：平成10年8月1日～平成11年3月31日  
④主な応募資格  
・昭和50年8月1日から55年8月10日の間に出生した独身男子  
・運転免許を有する者(原付でも可)  
・身長175cm以下、体重60kg以下の者  
・両眼とも裸眼視力0.6以上で色盲・色弱でない者  
●お問い合わせ：日本小型自動車振興会 03-3503-6421

### 「長野オリンピック協賛オートレース」開催!!

長野オリンピックを支援するため、「長野オリンピック協賛オートレース」が10月17日より川口オートで開催されることになりました。  
●開催地：川口オートレース場  
●開催日：平成9年10月17日(金)～21日(火)  
●選考方法：平成9年1月1日～7月31日までの連勝率各場上位者及び主催者推薦者

## プレゼントコーナー



日動振特製Tシャツを5名様に、本号「黒潮列伝」に登場の佐々木啓選手のサイン色紙を5名様に、それぞれ抽選でプレゼントします。官製はがきに、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、希望の賞品の番号を記入し、下記編集部までお送りください。締め切りは9月31日(当日消印有効)。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

## 「GI第9回全国地区対抗戦」 今大会から「新鋭選抜戦」を新設。



各地区の競走成績上位選手を集めた、「全国地区対抗戦」。第9回を数えるこのGIレース、今回は山陽オートで9月20日より開幕します。今回から出場選手の選考方法が変更。従来の各地区成績上位8名によるA級選抜に加え、A級選抜戦出場選手以外でデビュー10年未満の選手より各地区上位者による「新鋭選抜戦」が新設。楽しみが増えました。

- 開催地：山陽オートレース場。
- 開催日：平成9年9月20日(土)～24日(水)
- 参加選手：正選手88名(A級選抜48名、新鋭選抜40名)
- 選考方法：平成8年7月1日～12月31日まで6ヶ月間の成績上位者
- 優勝賞金：A級選抜 1,000万円  
新鋭選抜 300万円  
団体 150万円

### 9月21日第11R A級ドリーム戦出場予定選手

- 片平 巧 / 船橋19期
- 鈴木 辰己 / 浜松13期
- 池浦 一博 / 山陽18期
- 高橋 貢 / 伊勢崎22期
- 福田 茂 / 川口12期
- 中村 政信 / 飯塚19期
- 田代 祐一 / 伊勢崎15期
- 島田 信廣 / 船橋11期

